

## エコマーク「基準審議委員会」(第7回) 議事要旨

日 時 : 2012年1月23日(月) 11:00~14:10

場 所 : (財)日本環境協会 会議室

出席委員 : (8名、50音順、敬称略、○:委員長)

- 伊坪 徳宏 (東京都市大学)
- 大石 美奈子 (公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会)
- 竹田 宜人 (独立行政法人製品評価技術基盤機構)
- 恒見 清孝 (独立行政法人産業技術総合研究所)
- 増井 慶次郎 (独立行政法人産業技術総合研究所)
- 峯村 高志 (環境省)
- 茂木 敏 (財団法人東京都環境整備公社)
- 山口 庸子 (共立女子短期大学)

### 【審議事項】

#### 1. エコマーク商品類型(認定基準)案について

##### 1) 建築製品の対象拡大案

**No.123「建築製品(内装工事関係用資材)Version2.9」** 分類 C-7~タイルカーペット~  
上記の認定基準案について精査・検証を行った。その結果を、当該基準策定委員会に答申することとなった。

#### 2. エコマーク商品類型(認定基準)の部分的な改定について

##### 1) No.123「建築製品(内装工事関係用資材)Version2.9」

**No.137「建築製品(外装・外構工事関係用資材)Version1.5」**

**No.138「建築製品(材料系の資材)Version1.7」**

**No.139「建築製品(設備)Version1.3」**

代替フロン、TVOC、廃植物繊維に関する基準項目、および分類:住宅用浴室ユニット、プラスチックデッキ材に関する部分的な改定が承認された。(改定日:2012年4月1日)

##### 2) No.128「日用品Version1.14」

第6回企画戦略委員会においてとりまとめた『エコマークにおける使い捨て商品に関するポリシー』(2011年11月15日)に基づく、部分的な改定が承認された。(改定日:2012年2月1日)

#### 3. エコマーク共通規定の今後の方向性について

①エコマーク認定における難燃剤の使用について

②エコマーク認定における抗菌剤の使用について

③エコマーク認定商品における生分解性プラスチックの表示について

エコマーク共通規定(上記①~③)の今後の方向性について議論した。本案については、第7回企画戦略委員会および第8回基準審議委員会で継続審議することとなった。

**【報告事項】**

**4. 第6回エコマーク企画戦略委員会報告**

第6回エコマーク企画戦略委員会の内容について報告した。

以上